

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の内容・方法	保育内容 言葉	小林和子	1年次	秋

授業のキーワード	領域「言葉」のねらい「心情」「意欲」「態度」の育ちを学ぶ（感性と表現の豊かさ）を追求。
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものとする。そこで、言葉の発達や指導法について学ぶ。
履修のアドバイス・ 前提科目等	履修「言葉」を他の領域と関連付けながら総合的に考え、子どもと共に生活する中で、言葉を育て、心を育てるために学びたい。そして、子どもにとっての「言葉の獲得」を様々な実践事例を通して学ぶ。

### 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明。	第9講	事例研究（2）	集団生活の中の言語活動
第2講	幼児教育（幼・保・小）について	幼稚園、保育園（所）、小学校について知り、幼児教育の基本を知る。	第10講	事例研究（3）	保育者の援助と関わり
第3講	言葉の発達（1）	乳幼児期の”言葉の発達と特性”	第11講	事例研究（4）	ことば遊び、文字遊び、わらべうた遊び、手遊び、etc.
第4講	言葉の発達（2）	乳幼児期の”言葉の発達と特性”	第12講	文化財を通して（1）	素話、物語とことば
第5講	領域「言葉」について	ねらいと内容について、教育要領解説書から学ぶ	第13講	文化財を通して（2）	絵本、紙芝居、ペープサート他とことば
第6講	領域「言葉」について	具体的な内容を事例（エピソード）を通して学ぶ	第14講	文化財を通して（3）	劇遊びとことば、うたとことば
第7講	領域「言葉」について	指導者（環境）と言葉（聞く、話す）	第15講	まとめ	教育過程の位置付けと指導計画
第8講	事例研究（1） （保育活動）	年齢別のかかわりの中で、言葉と育ちを知る	評価方法		出席状況、授業態度レポート提出 （15回分の授業内容の記録、感想（自己評価）提出
備考 （関連する資格・試験等）		試験は実施しない方針だが、毎時の授業を意欲的に学ぶ姿勢を重視。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
幼稚園教育要領解説（文部科学省） 保育内容・言葉（同文書院）			毎授業の前に10分位、言葉の系統的指導の50の遊び（村石昭三）を用意し配布。		